

# 集落営農組織等による地域ぐるみの鳥獣被害防止対策 ー島根県飯南町（農）長谷営農組合ー

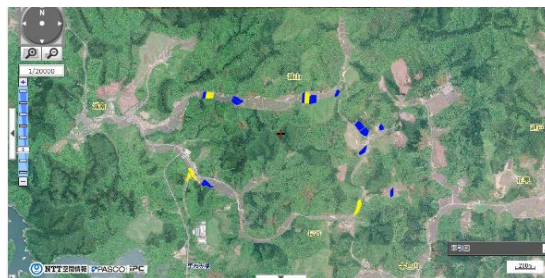
- 地域農業の担い手である集落営農組織が、鳥獣害対策の担い手として取り組む。
- 基本的な対策と効果検証、数値目標を立てて構成員が意識を共有した取り組みによる被害防止。
- 近隣集落営農組織との広域的連携による鳥獣対策の検討

○農業共済被害 約2.2ha → Oha

H27年



H28年



H29年



## ○主な対策(活動)

### ○研修会(習性・電気牧柵設置)



イノシシの目線で！  
一見、人間の目線からは斜めに設置しているように見えても、侵入するイノシシからすればまっすぐに設置されている。



○電気牧柵の管理・設置体制の変更  
組合員個人の管理・設置 → 組合の管理・設置

○抜き打ち通電点検

○防護柵の設置

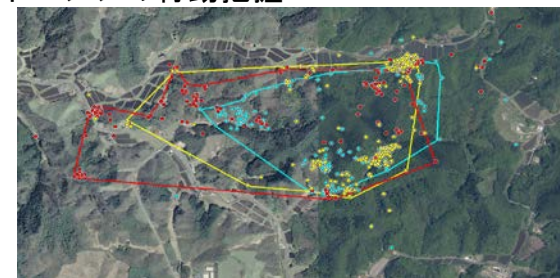
○実施隊員メンバーである組合構成員が中心となった捕獲活動

○対策検討会の開催

対策の効果検証、被害マップの作成、次年度に向けた計画作成、目標の数値化  
抜き打ち通電点検の結果より

	実態	目標	次年結果
4,000V以上の電源数	54%	60%	68%
一日通電電源数	36%	65%	68%

### ○イノシシの行動把握



イノシシの立ち寄りやすい箇所の把握と環境整備の検討

○隣接する集落営農組織との組織連携の検討

# 集落営農組織等による地域ぐるみの鳥獣被害防止対策 一島根県飯南町（農）長谷営農組合一

## 取り組みのはじまり(H27年)



- 防護柵・電気柵を張って、下草をきれいに刈ってもイノシシ被害が収まらない…
- 防護柵を延長しようか…と検討していたところ

**農業共済被害申請 約2.2ha**

- 単に防護柵を延長しても、根本的な鳥獣対策にならない

東部農林振興センター雲南事務所  
鳥獣対策担当へ 相談

## H28年度

- 設置・管理体制の変更
- 研修会  
(イノシシの習性・電気柵の設置)
- 防護柵の設置  
鳥獣被害防止総合対策交付金を活用
- 実施隊員メンバーである組合構成員が中心となった捕獲活動(29頭)
- 対策検討会の開催  
対策の効果検証、被害マップの作成、次年度に向けた計画作成



取り組みの効果が発揮できなかったポイント、改善方法を説明。

## H29年度

- 研修会  
(クイズ形式の電気柵設置研修)
- 実施隊員メンバーである組合構成員が中心となった捕獲活動(2頭)
- 電気柵設抜き打ち点検 4,000V以上の電源数 54%  
一日通電電源数 36%
- 対策検討会の開催  
対策の効果検証、被害マップ作成、次年度計画作成
- 目標の数値化



電線の高さ・間隔、鉄パイプによる漏電など間違い探しの設置研修

4,000V以上の電源数 54% ⇒ 60%  
一日通電電源数 36% ⇒ 65%

## 今後の取り組み

- 近隣集落営農組織との広域的組織連携
- 緩衝帯整備による獣害被害に遭いにくい集落づくり
- 捕獲の担い手の育成



## H30年度

- 研修会  
(電気柵メーカー技術者による研修)
- 実施隊員メンバーである組合構成員が中心となった捕獲活動(6頭)
- イノシシの行動把握  
捕獲・環境整備箇所の把握
- 電気柵抜き打ち点検



4,000V以上の電源数 目標 結果  
60% ⇒ 68%  
一日通電電源数 65% ⇒ 68%



飯南町長谷地区  
(農)長谷営農組合  
組合員 39名(34戸)  
経営面積 25ha  
水稻を中心に大豆や飼料用作物を栽培